

公 表 日
令和 年 月 日

## 随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和4年度遠賀川水系河道管理検討外業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 遠賀川河川事務所長 柄沢 祐子 福岡県直方市溝堀1-1-1
契約年月日	令和 4年10月19日
契約業者名	(株) 東京建設コンサルタント
契約業者の住所	福岡県福岡市博多区博多駅南2-12-3
契約金額	24,926,000円(税込み)
予定価格	24,926,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業務場所	福岡県直方市溝堀一丁目1-1
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 4年10月20日
履行期間(至)	令和 5年 3月15日
備考	入札情報サービス(PPI) ( <a href="https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx">https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx</a> ) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

## 契約理由書

1. 業務件名 令和4年度遠賀川水系河道管理検討外業務
2. 履行場所 福岡県直方市溝堀一丁目1-1
3. 契約の相手方 住所：福岡県福岡市博多区博多駅南2-12-3  
会社名：株式会社 東京建設コンサルタント 九州支社  
電話：(092) 432-8000
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び  
予算決算及び会計令第102条の4第三号

### 5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

#### 1) 当該業務の目的

本業務は、遠賀川水系の河道管理の為、既存の河道管理基本シート（H29更新）を、最新の河道整備に基づく維持目標流量設定及び流下能力検討により更新を行い、過去の維持対策等を踏まえて要注意箇所を再抽出を行うものである。

併せて、要注意箇所を再抽出に使用する為、三次元河川管内図の応用モデルを作成するものとする。

#### 2) 業務の内容

- |                  |   |    |
|------------------|---|----|
| ・河川維持目標流量設定      | : | 1式 |
| ・樹木調査            | : | 1式 |
| ・河道管理基本シート更新     | : | 1式 |
| ・要注意箇所抽出         | : | 1式 |
| ・要注意箇所別シート更新     | : | 1式 |
| ・三次元管内図応用モデル作成   | : | 1式 |
| ・三次元管内図操作説明会企画運営 | : | 1式 |

#### 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を21者が入手（ダウンロード）し、4者から参加表明書が提出され、4者が参加資格を有していた。

参加資格を有する4者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の有益な代替案にて「今後の維持管理や改修の優先度評価」が記載されていること、及び評価テーマの「遠賀川水系の河道要注意箇所を再抽出する際の留意点」に対する技術提案について与条件との整合性について、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

遠賀川河川事務所 管理課長